

令和元年度

事業報告書



ふれあいネットワーク

令和2年4月

社会福祉法人

江津市社会福祉協議会

目 次

I. 概 要	1 頁
II. 事業実施報告	2～24 頁
1. 地域福祉を担う人づくり	
(1) 福祉教育の推進と地域福祉の意識づくり	
①福祉教育実施校助成事業（共同募金助成事業）	2 頁
②江津市地域福祉学習推進モデル事業（共同募金助成事業）	2 頁
③あいサポート運動の推進	3 頁
④江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）	3 頁
⑤福祉ふれあいチャリティーバザーの開催	3～4 頁
⑥生活支援体制整備事業	4 頁
(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援	
①ボランティアセンター事業	4～5 頁
②障がい者支援（意思疎通支援）ボランティアの養成・育成	5 頁
③民間助成事業の利用支援	5～6 頁
2. 地域づくりを展開するまちづくり	
(1) 地域福祉活動の体制づくり	
①地域福祉座談会の開催	6 頁
②民間助成事業の利用支援【再掲 1-(2)-③参照】	6 頁
③社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕	6 頁
④地域介護予防活動支援事業	7 頁
⑤障がい者サロンの設置検討	7 頁
⑥福祉委員制度の見直し	7 頁
⑦生活支援体制整備事業【再掲 1-(1)-⑥参照】	7 頁
⑧住民参加型在宅福祉サービスへの取組	8 頁
⑨自治会区等の小地域福祉活動の推進	8 頁
⑩市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）	8 頁
(2) 地域の関係機関の連携体制づくり	
①江津市社会福祉法人連絡会の活動推進	8～9 頁
(3) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり	
①災害ボランティアセンターの体制整備	9～10 頁
②災害ボランティアの養成	10 頁
③災害ボランティアコーディネーターの育成・養成	11 頁
④地域介護予防活動支援事業【再掲 2-(1)-④参照】	11 頁
⑤防犯・見守り活動	11 頁

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(1) サービスの提供体制づくり

- ①福祉バンク事業（福祉用具貸出事業） 12頁
- ②地域介護予防活動支援事業【再掲 2-(1)-④参照】 12頁
- ③生活支援まごころフレッシュサービス事業 12頁
- ④江津和光園大学ふれあい教室の開催（共同募金助成事業） 12～13頁
- ⑤歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業） 13頁
- ⑥骨髄バンク基金事業 13頁
- ⑦福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業） 13～14頁
- ⑧生活福祉資金貸付事業 14頁
- ⑨民生基金貸付事業 14頁
- ⑩赤い羽根子どもの遊び場の保険加入事務 15頁

(2) 相談体制・情報提供体制の充実

- ①ふれあい福祉センター総合相談事業 15頁
- ②福祉委員制度の見直し【再掲 2-1-⑥参照】 15頁
- ③広報紙の発行およびホームページの更新 15頁

(3) 権利擁護・虐待防止対策の推進

- ①日常生活自立支援事業 16頁
- ②法人後見受任事業 16頁
- ③権利擁護の普及啓発および権利擁護人材の育成 17頁

(4) 生活困窮者等の自立支援の推進

- ①生活支援相談センター事業 17～18頁
- ②緊急一時食料支援事業（フードバンク事業） 18頁
- ③生活困窮者日用品等提供事業 18～19頁
- ④入居債務保証支援事業 19頁

(5) 地域福祉に関する基盤整備

- ①福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）【再掲 3-(1)-⑦参照】 19頁
- ②社協支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕【再掲 2-(1)-③参照】 19頁
- ③民間助成事業の利用支援【再掲 1-(2)-③参照】 19頁
- ④社会福祉活動基金事業（福祉団体助成） 20頁
- ⑤本市社協の体制づくり（組織運営体制の見直し・再編） 20頁
- ⑥生活支援体制整備事業【再掲 2-(1)-⑩参照】 20頁
- ⑦法人運営事業 21頁
- ⑧研修会等への参加 22頁

(6) 団体事務の受託

- ①江津市民生児童委員協議会（団体事務の受託） 23頁
- ②江津市老人クラブ連合会（団体事務の一部受託） 23頁
- ③江津市共同募金委員会（団体事務の受託） 23～24頁
- ④日本赤十字社島根県支部江津市地区（団体事務の受託） 24頁

令和元年度事業報告

【I】概要

本協議会では、平成30年3月に策定した「第3次江津市地域福祉活動計画」に掲げる基本理念及び基本目標等の達成と、島根県社会福祉協議会で策定された「しまね流社協・生活支援活動強化方針実践プラン」などの取り組みを着実に実践するため、社協支会をはじめとする各種福祉団体等との連携、協働により諸事業を実施し、概ねその目標を達成しました。なお、地域の関係団体等との調整不足や年度後半の2・3月は、「新型コロナウイルス感染拡大防止」への対応により、十分な成果が得られなかった事業もあり、次年度以降の課題となりました。

今年度、計画に掲げた諸事業の推進について、重点的に取り組んだ事項は次のとおりです。

『生活支援体制整備の充実』に関しては、地域で自立生活をされている高齢者の参加も得ながら、地域主体の生活支援等サービスが提供できる体制や基盤をつくるため、市全域を対象とする生活支援コーディネーターを配置して、地域で暮らす高齢者等の介護予防や生活支援の充実に向けた仕組みづくりについて、地域関係者などが集い、話し合う場（協議体）を定期的に開催し、地域の生活福祉課題解決を図るための連携・協働の場づくりを推し進めました。

『江津市ボランティアセンターの充実』に関しては、平常時から災害発生に備えた支援体制などを充実させるため、災害ボランティアセンター運営支援者養成講座（島根県社会福祉協議会・浜田市社会福祉協議会共催）に、社協支会や社会福祉法人連絡会などの協力関係者と共に参加しました。本講座の参加を通じて、災害時における被災者の円滑な支援活動や運営の実施に欠かすことができない地域団体や福祉団体との連携・協働の強化を図る機会としました。

また、地域での日常生活の中から支え合いにつながるボランティア活動について考えることを目的としたボランティア研修会を開催し、参加された地域の住民や福祉関係者一人ひとりが、支え合うことの必要性や地域の中で自分らしく活躍できるボランティア活動のあり方など気づきの糸口としました。

『権利擁護の推進』に関しては、平成30年度に開催した市民後見人講座修了者の中から16名が法人後見支援員に登録し、4月から法人後見支援員による活動を開始しました。また、権利擁護人材フォローアップ研修を開催して権利擁護を担う人材の育成を図ったほか、福祉ふれあいチャリティーバザーにおいて成年後見制度のPRブースを設置するなど、権利擁護理念の普及啓発を行いました。

『地区支会との連携強化』に関しては、本協議会の地域福祉活動を推進する重要なパートナーである地区支会と意見交換や情報共有を行うため、支会長会議を開催し、住民に一層理解される地区支会のあり方について地区支会と一緒に検討しました。この中で、地区支会の活性化を図るため、地区支会の運営費の助成などの必要性について協議を重ね、次年度に向けた対応の整備を行いました。

年度後半の2・3月には、「新型コロナウイルス感染拡大防止」のため、各地域での事業を自粛する要請を行ない、一部事業に業績の未達成が発生しました。

なお、各事業の具体的な実施状況については、以下のとおり報告いたします。

【Ⅱ】事業実施報告

1. 地域福祉を担う人づくり

(1) 福祉教育の推進と地域福祉の意識づくり

事業名	①福祉教育実施校助成事業（共同募金助成事業）
事業内容	<p>社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、福祉教育・学習の機会を提供し、体験や交流活動を通して福祉の心を育てることを目的とした下記の事業を実施する市内の小中学校及び養護学校に対し助成金を交付する。</p> <p>(1)基本事業</p> <p>ア. 福祉読本による学習、福祉講話、映画会</p> <p>イ. 手話、点字、アイマスク、車椅子体験等の福祉体験教室、ハンディキャップ体験の実施</p> <p>(2)選択事業</p> <p>ア. 社会福祉施設への訪問、交流活動</p> <p>イ. 高齢者等とのふれあい郵便</p> <p>ウ. 学校行事への高齢者、障がい者等の招待</p> <p>エ. 清掃、美化運動</p> <p>オ. 敬老会等地域での福祉事業への参加</p> <p>カ. ボランティア活動への参加</p> <p>キ. 障がいのある人の理解と社会の問題等の学習</p> <p>ク. 福祉図書等の整備</p> <p>ケ. 赤い羽根共同募金を通じた学習（共同募金教室）の開催</p> <p>コ. その他</p>
対象者	市内の小中学校、江津清和養護学校（12校）の児童生徒会を対象
成果等	<p>○各学校の児童数、生徒数に応じて、一校あたり 52,000 円から 65,500 円の範囲で助成金交付。</p> <p>○市内の小中学校及び小中学校の児童、生徒を対象に社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに福祉教育学習の機会を提供し、体験や、交流活動を通して、福祉の心を育てることに努めた。</p>
備考	○各校の福祉教育は例年通りの計画が大半である。（次年度に具体的な見直し等の検討を図る）

事業名	②江津市地域福祉学習推進モデル事業（共同募金助成事業）
事業内容	<p>地域福祉の推進には、「福祉学習に始まり、福祉学習に終わる」という、反復、継続した学習機会が必要とされている。地域の生活課題、福祉課題に気づき、考え、行動し、発展させる地域ぐるみの福祉学習を推進し、地域のニーズに応えた活動を実践することによって、地域福祉を担う人づくりや地域の福祉力向上を図る。</p> <p>※事業実践者を選定（指定）した2ヵ年のモデル事業。（令和元年度は1年目）</p>
対象者	江津市社会福祉協議会都野津支会・都野津町づくり協議会 江津市社会福祉協議会市山支会・まごころ市山
成果等	<p>○都野津地区、市山地区、それぞれの地区における生活・福祉課題の解決を図るため、地域の多様な関係者が参加して、連携・協働による地域の福祉学習が推進できるよう、助成金（一地区 90,000 円、総額 180,000 円）を交付し、地域ごとの福祉学習会開催に関する支援を行った。</p> <p>・都野津＝「生活の場・子育ての場である我が町の誰もが平穏に生活できる未来の町づくりのために」を福祉学習の主題（テーマ）にした福祉学習会に関する実践をされた。</p> <p>・準備会の開催（1回）・ワークショップ及びまちなか処方学の開催（4回）</p> <p>・市山＝「共に支えあえる地域に向けて」を福祉学習の主題（テーマ）に、地域活動の根本である地域の支え合いについての福祉学習会に関する実践をされた。</p> <p>・講演会の開催（1回）【講師】ご近所クリエイター 酒井 保 氏</p> <p>○事業実践者（都野津・市山）は、福祉学習会開催を通じて、地域の現状や生活福祉課題など、地域について「振り返る」集いの場とすることができた。</p> <p>・都野津＝地域に無関心（地域のつながりなどの必要性を感じないなど）の住民が多いことが、地域の生活福祉課題として気づくことができた。</p> <p>・市山＝ご近所同士の支え合いの必要性などの話題が自然に出るようになり、気づく（意識する）ことの大切さから、地域の機運を高めるきっかけとなった。</p> <p>○本協議会も地域福祉学習会に一部参加し、福祉学習会開催など事業実施の支援を通じて、地域ごとの生活福祉課題の把握等に努めた。</p>
備考	

事業名	③あいサポート運動の推進
事業内容	住民だれもが、多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、障がいのある人への必要な配慮などを理解し、ちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す。
対象者	市民等
成果等	障がいの特性や必要な配慮などを理解して障がいのある方々を手助けする「あいサポーター研修」を実施した。 ○あいサポーター研修【本協議会職員等のメッセンジャーによる研修】 / 実施回数：2回 ・6月27日、江津市社会福祉協議会本町支会関係者（修了者10名） ・1月24日、江津市役所職員（修了者40名） ○令和元年度あいサポーター研修の修了者50名（前年度比46名減）
備考	

事業名	④江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）
事業内容	○社会福祉関係者や市民が一堂に会する大会を開催し、多年にわたり社会福祉に貢献された方々を表彰するとともに、実践発表等を通じて、より一層の福祉意識の醸成を図る。 ○江津市総合社会福祉大会運営委員会の開催（大会内容等の検討） ○江津市総合社会福祉大会表彰審査委員会の開催（被表彰候補者の審査）
対象者	江津市社会福祉関係者並びに市民
成果等	○次のとおり開催し、地域福祉の意識向上を図り「福祉のまちづくり」を推進した。 ・開催日 令和元年11月6日 ・大会参加者 約350名 ・令和元年度表彰状授与者31名、感謝状授与者1団体、5名 ・地域福祉活動実践発表、少年の主張江津市大会出場者の意見発表を聞き、福祉意識の醸成を図った。 ア. 地域福祉活動実践発表 嘉久志まちづくり推進協議会、NPO法人ちゃいるどりーむ イ. 少年の主張意見発表市内4中学校代表 4名
備考	

事業名	⑤福祉ふれあいチャリティーバザーの開催												
事業内容	○市民の皆様に拠出していただいた品物を販売し、その収益金により市内の福祉事業の推進を図ることを目的として開催。（収益金は共同募金として取り扱う） ○福祉ふれあいチャリティーバザー運営委員会の開催（運営方法等について検討）												
対象者	市民（市民以外も含む）												
成果等	令和元年度実績 <table border="1"> <tr> <td>開催日時</td> <td>令和元年12月1日（日）9：30～14：00</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>江津市総合市民センター</td> </tr> <tr> <td>抛出点数</td> <td>6,378点（前年度比830点増）</td> </tr> <tr> <td>収益</td> <td>659,295円（前年度比59,215円増） 内訳 純益金568,675円、寄付金90,620円</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>579名（前年度比88名増）※子どもを含む</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>・出店団体：江津ライオンズクラブ、江津市社会福祉協議会市山支会、川戸婦人会、 わんわん・ふれあい会、田吾作、石見国の黒炭 ・共同募金ブースを設置（赤い羽根テーマ募金の周知パネルを展示）、古本募金を実施 ・社協ブース内容を充実（わたがし、ふうせん、ガチャガチャなど）</td> </tr> </table>	開催日時	令和元年12月1日（日）9：30～14：00	会場	江津市総合市民センター	抛出点数	6,378点（前年度比830点増）	収益	659,295円（前年度比59,215円増） 内訳 純益金568,675円、寄付金90,620円	来場者数	579名（前年度比88名増）※子どもを含む	備考	・出店団体：江津ライオンズクラブ、江津市社会福祉協議会市山支会、川戸婦人会、 わんわん・ふれあい会、田吾作、石見国の黒炭 ・共同募金ブースを設置（赤い羽根テーマ募金の周知パネルを展示）、古本募金を実施 ・社協ブース内容を充実（わたがし、ふうせん、ガチャガチャなど）
開催日時	令和元年12月1日（日）9：30～14：00												
会場	江津市総合市民センター												
抛出点数	6,378点（前年度比830点増）												
収益	659,295円（前年度比59,215円増） 内訳 純益金568,675円、寄付金90,620円												
来場者数	579名（前年度比88名増）※子どもを含む												
備考	・出店団体：江津ライオンズクラブ、江津市社会福祉協議会市山支会、川戸婦人会、 わんわん・ふれあい会、田吾作、石見国の黒炭 ・共同募金ブースを設置（赤い羽根テーマ募金の周知パネルを展示）、古本募金を実施 ・社協ブース内容を充実（わたがし、ふうせん、ガチャガチャなど）												
備考	○収益増加の要因として考えられること ・出店団体が前年度より増えたことによる寄付金増・電化製品、運動器具、工具など高値が付く商品の抛出があった ○その他												

	・メイン会場の配置を変更・抛出点数が増加しているが、商品の数え方が地区によって異なっていたことが影響している可能性がある・バザー当日、館内で他のイベントあり
--	--

事業名	⑥生活支援体制整備事業																
事業内容	高齢者などのニーズに合った生活支援の担い手の養成やサービスの開発等の資源開発、関係者のネットワーク化を推進する。また、地域の関係者が定期的な参加による情報共有及び連携・協働の場「協議体」も開催する。																
対象者	概ね65歳以上の方																
成果等	<p>市内の各地区の情報・課題の把握に取り組み、市全域に共通する課題等について「協議体（地域の関係者などが集い、話し合う場）」を開催した。「高齢者の食事の確保」に関しては地域での取り組みに結び付けることができた。また、「高齢者等ゴミ出しの困難状況」を第1層協議体で共有することにより、今後の課題が確認できた。</p> <p>○江津市生活支援コーディネーター連絡会開催 ○桜江地区第2層協議体参画 ○地域コミセンやサロンを訪問し地域の困りごとの把握実施 ○地域ケア会議に参画し専門職が抱える地域の課題と対応策を共有 ○江津市第1層協議体開催 （場所）パレットごうつ （出席者）第1層協議体委員、行政、課題関係者、事務局等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期 日</th> <th>出席者数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>5/17（金）</td> <td>19名</td> <td>・江津市第1層協議体について ・食の確保に関する弁当の配達について</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>8/2（金）</td> <td>17名</td> <td>・江津市第1層協議体について ・高齢者のゴミ出し支援について</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>12/6（金）</td> <td>21名</td> <td>・高齢者のゴミ出し支援について</td> </tr> </tbody> </table>		期 日	出席者数	内 容	第1回	5/17（金）	19名	・江津市第1層協議体について ・食の確保に関する弁当の配達について	第2回	8/2（金）	17名	・江津市第1層協議体について ・高齢者のゴミ出し支援について	第3回	12/6（金）	21名	・高齢者のゴミ出し支援について
	期 日	出席者数	内 容														
第1回	5/17（金）	19名	・江津市第1層協議体について ・食の確保に関する弁当の配達について														
第2回	8/2（金）	17名	・江津市第1層協議体について ・高齢者のゴミ出し支援について														
第3回	12/6（金）	21名	・高齢者のゴミ出し支援について														
備考	高齢者等生活支援体制整備事業																

1. 地域福祉を担う人づくり

(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援

事業名	①ボランティアセンター事業									
事業内容	<p>ボランティアを求めている個人や施設・団体とボランティア活動を希望する人やグループを結びつける等、ボランティア活動を推進する機関であり、概ね以下の活動を行う。</p> <p>(1) ボランティア相談（登録、斡旋、連絡調整） (2) 情報提供 (3) 各種出前講座（講習会）開催、指導（車椅子、アイマスク、高齢者の日常動作の疑似体験指導等） (4) 障がい者支援ボランティアの養成・育成【1-(2)-②参照】 (5) ボランティア研修会・講演会の開催 (6) 活動基盤充実（ボランティア保険加入促進） (7) 生活支援まごころフレッシュサービス事業【3-(1)-③参照】 (8) 歳末声かけボランティア事業【3-(1)-⑤参照】 (9) ボランティア団体連絡会の開催 (10) ボランティアセンターの運営評価（ボランティアセンターの運営委員会の開催）</p>									
対象者	市民									
成果等	<p>○登録者</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>個 人</td> <td>24名</td> <td>（前年度比1名増）</td> </tr> <tr> <td>団 体</td> <td>70団体</td> <td>（前年度比4団体増）</td> </tr> <tr> <td>団 体 構 成 員</td> <td>1,772名</td> <td>（前年度比150名増）</td> </tr> </tbody> </table>	個 人	24名	（前年度比1名増）	団 体	70団体	（前年度比4団体増）	団 体 構 成 員	1,772名	（前年度比150名増）
個 人	24名	（前年度比1名増）								
団 体	70団体	（前年度比4団体増）								
団 体 構 成 員	1,772名	（前年度比150名増）								

	<p>※団体構成員内訳【新規】江東中学校 53 名増、桜江中学校 44 名増、川戸ボランティア 25 名増、市山ボランティア 23 名増、黒松こまご救援隊 15 名（合計 160 名増）</p> <p>【解散】黒松ボランティアグループ 1 件 10 名減</p> <p>○情報発信 広報紙「ごうつ社協」第 162 号、第 164 号、第 166 号にボランティアセンターからの情報掲載</p> <p>○出前講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>対象者</th> <th>参加者</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/18</td> <td>桜江中学校 1 年生</td> <td>16 名</td> <td>高齢者疑似体験・車椅子体験</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ボランティア研修会（令和 2 年 1 月 23 日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 ボランティア団体、社協支会、民生委員、児童委員ほか（153 名） ・内 容 「支え・合うってなんだろう？」 ～日常生活の中から支え合いにつながる活動について考える～ 講師：ご近所福祉クリエイション ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏 <p>○江津市ボランティアセンター</p> <p>「西部島根医療福祉センター」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り（模擬店の手伝い） 江津中学校 4 名、社協都野津支会 5 名、済生会ボランティアグループ水仙の会 2 名 江津市ジュニアリーダーズクラブ 3 名、他 6 名（合計 20 名） ・学園祭（模擬店の手伝い） 江津高校 4 名、江津中学校 1 名、石見智翠館 8 名、嘉久志ボランティア 4 名、 済生会ボランティアグループ水仙の会 2 名、他 3 名（合計 22 名） <p>「白寿園」・夏祭り（模擬店の手伝い） 江津中学校 5 名</p> <p>「島根県障害者スポーツ協会」・島根県障がい者スポーツ大会（競技補助等の手伝い） 江津中学校 2 名、桜江中学校 3 名、江津高校 1 名、江津市体育協会 2 名、他 1 名（合計 9 名）</p> <p>「江津市障がい者協会」・旅事業（広島県帝釈峡方面、障がい者の介助補助） 江津高校 1 名、他 1 名（計 2 名）</p> <p>「公益社団法人 全国子ども会連合会 中国・四国地区子ども会連絡協議会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 47 回中国・四国地区子ども会ジュニアリーダー研修会 済生会ボランティアグループ水仙の会 4 名 	期日	対象者	参加者	内 容	6/18	桜江中学校 1 年生	16 名	高齢者疑似体験・車椅子体験
期日	対象者	参加者	内 容						
6/18	桜江中学校 1 年生	16 名	高齢者疑似体験・車椅子体験						
備 考	学校関係の行事と重なることが多く、依頼しても学生の参加が難しかった。								

事業名	②障がい者支援（意思疎通支援）ボランティア養成事業
事業内容	○手話・要約筆記奉仕員のレベルアップ講座 ろう者が日常使っている言葉である手話や要約筆記を習得し、奉仕員として活動できる人を養成・育成する。
対象者	市民
成果等	○手話奉仕員レベルアップ講座 ・開催回数 5 回 ・延べ受講者数 19 名
成果等	○要約筆記レベルアップ講習会 ・開催回数 8 回 ・延べ受講者数 47 名
備 考	

事業名	③民間助成事業の利用支援
事業内容	民間助成事業の利用促進により、地域福祉活動等の活性化を図る。
対象者	不定（それぞれの実施主体が定めるため）

成果等	<p>その他民間助成事業</p> <p>助成事業の周知を行って、申請団体を支援（推薦文作成など）し、助成決定につなげた。</p> <p>○令和元年度ボランティア活動助成（公益財団法人大和証券福祉財団）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請団体：虹の家（1団体） ・助成金決定額：196,000円、活動対象期間R2.1.1～R2.12.31 <p>○第36回老後を豊かにするボランティア活動資金助成（公益財団法人みずほ教育福祉財団）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請団体：本町ボランティア会 ・助成金決定額：81,000円（プロジェクター、自立タイプスクリーンの整備）
備考	第37回老後を豊かにするボランティア活動資金助成（公益財団法人みずほ教育福祉財団）について、助成事業の周知を行ったが、当年度に各地域の団体からの助成申請はなかった。

2. 地域づくりを展開するまちづくり

(1) 地域福祉活動の体制づくり

事業名	①地域福祉座談会の開催
事業内容	地域内の福祉課題、生活課題について話し合う場として、社協支会単位等で座談会を行い、ニーズ把握と連携強化を図る。
対象者	地域の住民等（概ね65歳以上の方）
成果等	<p>○生活支援コーディネーターが地域のコミセンやサロン会場を訪問して、地域の課題・ニーズの把握などを行って、地域福祉座談会の開催に位置付けた。</p> <p>【訪問地域及び回数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有福1回 ・跡市1回 ・二宮3回 ・敬川10回 ・都野津10回 ・嘉久志3回 ・郷田（高浜、本町）5回 ・松平（松川、川平）10回 ・渡津10回 ・浅利3回 ・黒松1回 ・都治1回 ・波積6回 ・長谷1回 ・市山5回 ・川戸5回 ・谷住郷4回 ・川越1回 （合計80回） <p>【地域の課題・ニーズ把握（主なもの）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足による地域活動の維持 ・参加者の移動手段の確保 ・地域活動への参加者が固定傾向 ほか
備考	

事業名	②民間助成事業の利用支援【再掲1-(2)-③参照】
-----	---------------------------

事業名	③社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕
事業内容	小地域の誰もが安心して暮らせるよう、援助を要する人たちの把握と見守り、声かけを基本とした個別援助活動、ふれあいサロン、老人給食、子育てサロンなどの集団援助活動などを支援する。社協支会の活動費は、江津市共同募金委員会から助成金を交付する。
対象者	社協支会長及び地域福祉に関わるボランティア団体等住民全般
成果等	<p>○23地区社協活動により、地域福祉活動とネットワークの充実に貢献し、小地域の福祉の充実に大きな役割を果たしている。</p> <p>○社協支会（23支会）に総額4,382,000円を助成金として交付した。</p> <p>○以下のとおり、支会との連携や、各地区での取り組み状況等の意見交換や情報交換の場として支会長会議を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月27日【主な内容】①江津市における生活支援体制整備事業の現況等について情報提供 ②各社協支会が抱える課題と今後の取り組み等について意見交換 ※意見交換は中学校区単位とする4グループに分けて行った。 ・3月12日【主な内容】①令和2年度交付予定社協支会運営費について協議
備考	

事業名	④地域介護予防活動支援事業									
事業内容	○家に閉じこもりがちな高齢者に対して、定期的な訪問活動や地域住民との交流活動（ふれあいサロン）を通して、社会的孤立の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防する。 (1) 定期的な訪問、声かけ運動 生活・福祉課題を早期に発見し、必要とする支援につなげる。 (2) ふれあいサロン 交流会・懇談会等、各社協支会（または各サロン）において月1～2回程度開催。 ○小地域支援ネットワーク推進委員会代表者会の開催（事業のあり方等の検討）									
対象者	○概ね65歳以上の高齢者 ○実施者：小地域支援ネットワーク推進会（社協支会、民生委員・児童委員、婦人会、健康づくり推進会、ボランティア等）									
成果等	○見守り活動による安心して暮らせるまちづくりの推進（生活・福祉課題を早期に発見し、公的サービスや住民同士の助け合い活動による支援へつなげた） ○住民同士が出会い、知り合うことで、多様な人間関係が生まれ、精神的・身体的に活性化（認知症予防・介護予防） ○令和元年度ふれあいサロン実績 <table border="1" data-bbox="322 741 1099 869"> <tr> <td>実施回数</td> <td>574回</td> <td>（前年度比 26回減）</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>10,629名</td> <td>（前年度比 679名減）</td> </tr> <tr> <td>定期開催箇所数</td> <td>30箇所</td> <td>（前年度比 増減なし）</td> </tr> </table> ・今年度実績は前年度より微増傾向であったが、新型コロナウイルスの影響によりほとんどのサロンが3月に開催を自粛したため、結果として前年度の実績より低下した。	実施回数	574回	（前年度比 26回減）	延べ参加者数	10,629名	（前年度比 679名減）	定期開催箇所数	30箇所	（前年度比 増減なし）
実施回数	574回	（前年度比 26回減）								
延べ参加者数	10,629名	（前年度比 679名減）								
定期開催箇所数	30箇所	（前年度比 増減なし）								
備考	桜江地区については、市がさくらえいきいきワーカーの協力を得て直接実施した。									

事業名	⑤障がい者サロンの設置検討
事業内容	江津市障がい者協会などと連携しながら、障がい者サロン等の設置に向けての検討を行う。
対象者	障がい者
成果等	○共同募金助成金を通じた以下の事業により、障がい者サロンに準じて障がい者の居場所づくりとして位置付けた。 ・総合交流スポーツ大会（江津市老人クラブ連合会主催）の参加により、高齢者・障がい者・小学生の競技種目を通して、地域の高齢者等との交流の機会を持つことを促進 ・和光園大学での聴覚障がい者への理解を深める講座を実施（手話で話しましょう）
備考	障がい者サロンの等の設置については、江津市障がい者協会との連携が今後の検討課題である。

事業名	⑥福祉委員制度の見直し
事業内容	地域の情報を共有するために、従来の福祉委員制度を見直し、住民と民生委員・児童委員のつなぎ役となるような体制づくりについて検討を行う。 福祉委員のあり方検討会（平成26年度開催）の結果を踏まえ、モデル地域を選定（指定）して、地域の見守り活動を通じて、ひきこもりや生活困窮状態にある人などを、必要に応じて民生委員・児童委員や社会福祉協議会等へつないでいただく、新たな役割の提案等について検討を行う。
対象者	福祉委員制度の見直しモデル地域（社会福祉協議会各支会等）
成果等	○福祉委員制度のあり方について、地域の情報を共有するため、住民と民生委員・児童委員のつなぎ役となるような体制づくりを目指す。これをもって福祉委員制度の見直しに位置付けた。 ・各地域の支会長と自治会長を「福祉委員」として委嘱状を交付した。 また、改めて（平成18年7月18日付）の同意内容等を確認し、連合自治会長等に対して、社協が実施する地域福祉の推進について支援していただくようお願いした。
備考	

事業名	⑦生活支援体制整備事業【再掲1-(1)-⑥参照】
-----	--------------------------

事業名	⑧住民参加型在宅福祉サービスへの取組
事業内容	地域での見守り活動の中から把握された、在宅要援護者（高齢者や障がい者等）の日常生活上のちょっとした困りごとに対応するため、新たな支え合いファンド事業（島根県社会福祉協議会助成事業）の活用により、住民参加型在宅福祉サービス（有償・会員制のボランティアサービス）を実践する組織の立ち上げ支援を行う。
対象者	波積地域住民
成果等	○中山間地域（波積地域）における住民相互の支え合い活動の実践に向けた組織を立ち上げた。 【立ち上げた組織の名称】 輪りんの郷 【概要】 波積地域の住民参加型の援助活動を会員方式により、会員同士（地域の住民有志などで構成）が連携して実施する。 【会員構成】 ・協力会員7名（発足当初）※利用会員は、地域内の全高齢者が対象 【サービス内容】 ①高齢者の外出機会を増やすための「食事提供」※移動支援付き ②外出機会が少ない高齢者の社会参加として「シイタケ栽培」 ③買い物が困難な利用会員に対する買い物代行サービス ※③は現時点で直ちに利用対象者がいないため当分の間実施しない。
備考	

事業名	⑨自治会区等の小地域福祉活動の推進
事業内容	住民が自治会エリアにおいて主体的・組織的・計画的に取り組む福祉活動を支援するとともに、こうした活動を主導する地域人材の育成等を支援することにより、島根県ならではの地域資源や精神的豊かさを活かした新たな支え合い活動を推進する。
対象者	自治会等の小地域福祉活動を行う組織
成果等	江津市地域福祉活動推進助成事業の助成対象活動のひとつに、自治会等が行う小地域での福祉推進のための活動を盛り込み、その活動を支援した。 ○江津市地域福祉活動推進助成事業における自治会区等の福祉活動へ助成実績 ・2組織（2自治会区）に対し147,000円
備考	

事業名	⑩市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）
事業内容	江津市内の敬老活動を支援する事業（敬老会開催の支援）で、一地区（支会）あたり10,000円を支援する。
対象者	江津市内の高齢者全般
成果等	市内23地区の敬老会開催経費等の一部に充当された。
備考	

2. 地域づくりを展開するまちづくり

(2) 地域の関係機関の連携体制づくり

事業名	①江津市社会福祉法人連絡会の活動推進
事業内容	社会福祉法人には、高い公共性や公益性が求められるなか、社協が中心となって市内の社会福祉法人・福祉施設と連携・協働して、地域福祉の輪を広げ、制度の狭間にある地域の課題に積極的に対応していくこととしている。
対象者	本会を含む市内11社会福祉法人
成果等	○社会福祉法人連絡会として次の取り組みを実施した。 1. 災害時の対応等について 令和元年度災害ボランティアセンター運営支援者養成講座への参加 1. 開催日時 令和元年10月18日（金）午前9時から 2. 開催場所 浜田市社会福祉協議会 （浜田市野原町859-1 浜田市総合福祉センター内）

備考	<p>3. 主催者 島根県社会福祉協議会 共催 浜田市社会福祉協議会</p> <p>4. 参加者 9名(川越地区から2名、3社会福祉法人から7名) 実際の災害を想定した講座へ参加したことで、災害ボランティアセンター運営支援者の養成につながったものと思われる。</p> <p>2. チャリティー余芸大会への協力 江津市共同募金チャリティー余芸大会の開催スタッフとして協力した。</p> <p>1. 開催日時 令和2年1月11日(土)午後12時から 2. 開催場所 江津市総合市民センター 3. 主催者 チャリティー余芸大会実行委員会 4. 来場者 約500名 3法人から14名の職員の方にスタッフとして協力いただき、余芸大会を成功裏に盛り上げることができた。</p> <p>3. 令和元年度ボランティア研修会の開催 毎年開催する社協の講演会に江津市と連携して協力した。</p> <p>1. 開催日時 令和2年1月23日(木)午前10時から 2. 開催場所 パレットごうつ2階ホール 3. 講演 演題、「支え・合うってなんだろう？」 日常生活の中から支え合いにつながる活動について考える 4. 講師 ご近所福祉クリエイション ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏 5. 参加者数 153名 住民一人ひとりが今、なぜ支え合わなければいけないのかに気づき、地域の中で自分らしく活躍できる役割をもった地域のボランティア活動について改めて考えることができた。</p> <p>4. 外国人材受入れセミナーへの参加呼びかけ 江津市の商工観光課からの依頼で社会福祉法人連絡会を通じて当セミナーへの参加を呼び掛けた。</p> <p>1. 開催日時 令和2年2月26日(水)午後1時から 2. 開催場所 パレットごうつホール 3. 主催者 島根県及び(公財)しまね国際センター 4. 参加者 社会福祉法人連絡会から3法人参加 外国人雇用に向け、先進事例や課題などについて学ぶことができた。</p> <p>5. 島根県の小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の実施 ○社会福祉法人連絡会参画法人紹介パンフレットの作成 1. 作成部数 13,000部 2. 配布先 市内全戸及び各社会福祉法人、市内高等学校 3. 配布日 令和2年6月予定 ○この事業の一環で、炊き出し訓練や救急法講習の防災研修会を計画していたが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止対応のため中止した。 パンフレットについては各社会福祉法人のPRや人材確保の際などに役立てることができるものと思われる。</p>
----	--

2. 地域づくりを展開するまちづくり

(3) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり

事業名	①災害ボランティアセンターの体制整備
事業内容	災害時において、被災者が一日も早く元の生活に戻れるよう、関係諸機関との連携のもと、ボランティアの募集・調整・派遣など必要な支援を行う。 また、平常時においては、災害時に効果的・効率的に災害ボランティア活動が行えるよう体制整備を行う。
対象者	被災者、ボランティア、関係諸機関

成果等	○災害ボランティア活動に必要な資機材の確保を次のとおり行った。			
	品名	数量	品名	数量
	剣スコップ	5	踏み抜き防止インソール	10
	剣スコップ (小)	5	安全ゴーグル	10
	刈払鎌	2	カラーコーン	6
	立鎌	1	カラーコーン用おもり	6
	モップ	6		
	モップ用バケツ	3		
備考	○市外の災害ボランティアセンター等への支援			
	・5/17 吉賀町火災助け合いステーションへ救援物資持参			
	品目	数量		
	ゴム手袋	98		
	うがい薬	12		
	防塵マスク	56		
	タオル	84		
	箱入りタオル	6		
	踏み抜き防止インソール	1		
	白神山地水 (2ℓ)	12		
	お茶 (555ml)	24		
	サイダー (500ml)	24		
	ミネラルウォーター (1.5ℓ)	16		
	アケリアス (500ml)	24		

事業名	②災害ボランティアの養成
事業内容	災害時のボランティア活動に必要な知識や技術について、講習や訓練を行い、災害ボランティアを養成する。
対象者	市民
成果等	<p>○「災害ボランティアセンター運営支援者養成講座」(主催・島根県社協)の開催にあたり、市内社会福祉法人および地域団体に参加を呼びかけ、9名が参加した(地域団体:2団体2名、社会福祉法人:3法人7名(うち市社協職員4名))</p> <p>☆開催日時 令和元年10月18日(金)9:00~16:00</p> <p>☆会場 浜田市総合福祉センター</p> <p>☆江津市からの参加者 9名(地域団体:2団体2名、社会福祉法人:3法人7名(うち市社協4名))</p> <p>☆内容 講義・演習「災害ボランティアセンターにおける地域住民・他機関等との協働について」 演習「災害ボランティアセンター運営訓練(ロールプレイ)」</p> <p>☆講師 日野ボランティアネットワーク 山下弘彦氏、森本智喜氏</p> <p>○啓発活動等</p> <p>☆江津高校1年生「総合的な探求の時間」における出前講座「災害ボランティアについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 令和元年7月17日(水)10:10~11:00 ・会場 江津高校 ・出席者 江津高校1年生8名
備考	

事業名	③災害ボランティアコーディネーターの育成・養成
事業内容	災害時にボランティアの受け入れや活動先の調整などが円滑に行われるよう、災害ボランティアコーディネーター養成研修会等への参加により市民・職員資質の向上を図る。
対象者	市民・本協議会職員
成果等	○「災害ボランティアセンター運営者養成講座」（主催・島根県社協）に参加し、本会からも実践報告を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 令和元年10月17日（木）10：00～17：00 ・会場 浜田市総合福祉センター ・参加者 市社協職員3名 ・内容 実践報告「平成30年7月豪雨における江津市災害ボランティアセンターの活動について」 「江津市災害ボランティアセンターの振り返り」 江津市社会福祉協議会 生活支援課長 焼杉哲也 日野ボランティアネットワーク 山下弘彦氏、森本智喜氏 講義・演習「災害ボランティアセンターの運営・コーディネーターの役割について」 講師 日野ボランティアネットワーク 山下弘彦氏、森本智喜氏
備考	

事業名	④地域介護予防活動支援事業【再掲2(1)-④参照】
-----	---------------------------

事業名	⑤防犯・見守り活動
事業内容	○防犯の取り組み ・「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」の趣旨にのっとり、江津市民生児童委員協議会、江津警察署および本協議会が連携して、特殊詐欺や悪質商法の被害防止活動などの安全安心なまちづくりに関する活動を推進する。 ○見守り活動の取り組み ・家に閉じこもりがちな高齢者に対して、定期的な訪問活動や地域住民との交流活動（ふれあいサロン）を実施し、社会的孤立の解消や、福祉ニーズの早期発見を図る。 ・認知症等により徘徊のおそれのある高齢者等が行方不明になった場合に、早期に発見、保護できるよう努める。
対象者	市民
成果等	○防犯の取り組み ・支会などが開催しているふれあいサロン等の中で、警察署員を講師として「特殊詐欺被害防止」についての講話を聴く機会を設け、防犯活動につなげた。 ・歳末声掛けボランティア訪問事業の際に、江津警察署および江津市金融機関防犯協会が作成した「特殊詐欺被害防止グッズ」（PRカード）を配布した。 ○見守り活動の取り組み ・地域介護予防活動支援事業において、定期的な訪問活動とふれあいサロンを実施（詳細は2-(1)-④） ・徘徊高齢者等 SOS ネットワーク「ほっと江津！」に連携事業所として参画
備考	平成27年10月13日に江津市民生児童委員協議会、江津警察署および本協議会の3者で「犯罪のない安全・安心なまちづくりの推進に関する協定」締結

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(1) サービスの提供体制づくり

事業名	①福祉バンク事業（福祉用具貸出事業）
事業内容	○在宅生活の支援を目的として電動ベッド、車椅子、床ずれ予防マット等の福祉用具を損傷料を徴して貸与する。特に介護保険など制度の対象とならない方々に対し重点的に貸し出す。 ○不用となった福祉用具を寄贈していただき、再利用している。
対象者	江津市民で在宅生活をされる高齢者、障がい児者、その他福祉用具を必要とされる方
成果等	○在宅で生活をされる高齢者、障がい児者のADL（日常生活動作）向上や、介護保険制度による福祉用具利用者の需用を補完する役割を担った。 ○令和元年度総貸出件数 575 件（前年度比7件増）
備考	（注）令和元年度総貸出件数は累計貸出件数。令和元年度新規貸出・・・54件

事業名	②地域介護予防活動支援事業【再掲 2-(1)-④参照】
-----	-----------------------------

事業名	③生活支援まごころフレッシュサービス事業																						
事業内容	○有償ボランティア派遣事業（生活支援まごころフレッシュサービス協力会員、利用会員、賛助会員募集） ○住民同士の助けあいを基本として、日常生活支援、援助を必要とする人、子育て家族の就労支援体制を含めた負担を軽減するための会員方式の在宅福祉サービス。																						
対象者	○協力会員（江津市内在住でサービスの実務を担当する20歳以上の方） ○利用会員（江津市内に在住または居留し、日常生活に色々なサービスを必要とする方） ○賛助会員（労力の提供は出来ないが、財源の協力のみ出来る方）																						
成果等	○令和元年度実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="3">会員数</td> <td>協力会員</td> <td>9名</td> <td>（前年度比1名減）</td> </tr> <tr> <td>利用会員</td> <td>31名</td> <td>（前年度比4名増）</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>0名</td> <td>（前年度比±0名）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">延べ利用件数</td> <td>360件</td> <td>（前年度比70件増）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">協力会員延べ活動日数</td> <td>1,485日</td> <td>（前年度比497日増）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">協力会員延べ活動時間</td> <td>3,034.0時間</td> <td>（前年度比1,482.5時間増）</td> </tr> </table> <p>※利用会員の会員数は、登録者のうち当年度に事業を利用した人の数</p> ○平成30年4月からの介護保険の報酬改正に伴い、サービス事業者が、身体介護を優先するようになったことと、令和元年7月から、高齢者宅の弁当配達(株式会社中央)サービスが開始され、家事援助（掃除・買い物・食事の支度、弁当配達等）の依頼件数が増えた。	会員数	協力会員	9名	（前年度比1名減）	利用会員	31名	（前年度比4名増）	賛助会員	0名	（前年度比±0名）	延べ利用件数		360件	（前年度比70件増）	協力会員延べ活動日数		1,485日	（前年度比497日増）	協力会員延べ活動時間		3,034.0時間	（前年度比1,482.5時間増）
会員数	協力会員		9名	（前年度比1名減）																			
	利用会員		31名	（前年度比4名増）																			
	賛助会員	0名	（前年度比±0名）																				
延べ利用件数		360件	（前年度比70件増）																				
協力会員延べ活動日数		1,485日	（前年度比497日増）																				
協力会員延べ活動時間		3,034.0時間	（前年度比1,482.5時間増）																				
備考	これまで「有償ボランティア」と呼ばれてきたもので、現在は「住民参加型在宅福祉サービス」と言われている。																						

事業名	④江津和光園大学ふれあい教室の開催（共同募金助成事業）																
事業内容	○市内の高齢者を対象として、高齢者相互のふれあいと健康、社会知識、教養を高めるために、講座（教養、陶芸、時事、医療等）を開催する。 ○江津和光園大学運営審議委員会の開催（各講座の内容等について検討）																
対象者	高齢者（老人クラブ会員）等																
成果等	年間6回の講座を開催し、高齢者相互のふれあいと生涯学習に貢献 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>講座</th> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>受講者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6/10</td> <td>『開講式』 『認知症予防最前線』</td> <td>67名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>7/17</td> <td>『歌声サロン』</td> <td>44名</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>10/17</td> <td>『山下時子ライブステージ ～歌で、心も身体も元気に！楽しみまショー～』</td> <td>121名</td> </tr> </tbody> </table>	講座	開催日	内 容	受講者	第1回	6/10	『開講式』 『認知症予防最前線』	67名	第2回	7/17	『歌声サロン』	44名	第3回	10/17	『山下時子ライブステージ ～歌で、心も身体も元気に！楽しみまショー～』	121名
講座	開催日	内 容	受講者														
第1回	6/10	『開講式』 『認知症予防最前線』	67名														
第2回	7/17	『歌声サロン』	44名														
第3回	10/17	『山下時子ライブステージ ～歌で、心も身体も元気に！楽しみまショー～』	121名														

	第4回	11/15	『手話で話しましょう』 『支えあいつてなあに?』	33名
	第5回	1/16	『一日一生～心ゆたかに生きる知恵～』	41名
	第6回	2/19	『成年後見制度について～やさしい後見講座～』 『閉講式』	37名
・延べ受講者数 343名（前年度比 5名増） ・修了者 33名（前年度比 7名減）				
備 考	・修了者は4講座以上受講した人			

事業名	⑤歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業）												
事業内容	江津市ボランティアセンター登録のボランティア等が、年末に市内80歳以上のひとり暮らし高齢者、夫婦共80歳以上の高齢者に品物（餅、黒豆）をもって声かけ訪問をする。												
対象者	80歳以上のひとり暮らし高齢者世帯並びに夫婦共80歳以上の高齢者のみの世帯												
成果等	<p>○江津市ボランティアセンター登録会員のボランティア活動推進と対象者宅訪問により、健康確認（安否確認）に貢献した。</p> <p>○令和元年度実績</p> <p>(1)実施日 令和元年12月26日</p> <p>(2)活動者 ボランティア・民生委員・児童委員・社協支会長等 200余名</p> <p>(3)配布先</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>80歳以上の一人暮らし高齢者世帯</td> <td>754世帯</td> <td>（前年度比 4世帯増）</td> </tr> <tr> <td>夫婦共80歳以上の高齢者のみの世帯</td> <td>258世帯</td> <td>（前年度比 9世帯増）</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,012世帯</td> <td>（前年度比 13世帯増）</td> </tr> </table>				80歳以上の一人暮らし高齢者世帯	754世帯	（前年度比 4世帯増）	夫婦共80歳以上の高齢者のみの世帯	258世帯	（前年度比 9世帯増）	合 計	1,012世帯	（前年度比 13世帯増）
80歳以上の一人暮らし高齢者世帯	754世帯	（前年度比 4世帯増）											
夫婦共80歳以上の高齢者のみの世帯	258世帯	（前年度比 9世帯増）											
合 計	1,012世帯	（前年度比 13世帯増）											
備 考	見舞い品について、生ものは賞味期限の心配があるため、今年度から、餅と黒豆を箱詰めにして持参												

事業名	⑥骨髓バンク基金事業			
事業内容	<p>○白血病等による骨髓移植の治療を受ける人に対して経費の軽減及び精神的援助を図るため見舞金支給を行う。（見舞金の額は一人1回限り100,000円）</p> <p>○寄付者からの目的を指定した寄付金を財源とする。</p>			
対象者	<p>江津市に住所を有し、住民基本台帳法に基づき住民基本台帳に記録されている人のうち、次のいずれかに該当する人。</p> <p>(1) 骨髓移植を受けた人（ただし、骨髓移植後1年以内の申請に限る。また、この期間中に死亡した場合も対象とする。）</p> <p>(2) 1ヶ月以内に骨髓移植を受ける予定の人（ただし、申請後、骨髓移植予定日までに死亡した場合も対象とする。）</p>			
成果等	<p>○今年度実績：見舞金支給 1件（前年度比 増減なし）</p> <p>○残り基金枠 1,230,000円（R2.3.31現在）</p>			
備 考				

事業名	⑦福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）			
事業内容	福祉関係団体の諸事業（例 社協支会が行うサロン事業 市内老人クラブの研修旅行、市内保育所の遠足行事等）を推進するためにマイクロバスを運行する事業。このことにより、地域福祉事業の幅を広げ、変化に富んだ事業の推進に寄与する。			
対象者	福祉関係団体（福祉バス運行事業実施要項に基づく16団体）、その他会長の承認を得た団体			
成果等	<p>○令和元年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 98件（前年度比9件増） ・利用者数 延べ2,129名（前年度比147名減） <p>○福祉関係団体が行う福祉事業の支援</p>			

	○児童、高齢者、障がいのある人等幅広く地域福祉活動に利用され、その活性化に大いに役立てられた。
備考	・燃料代は利用者負担 ・土日祝祭日の運行は月2回以内で利用可能 ・新型コロナウイルスの影響で3月の利用者がすべてキャンセルとなったため、利用件数・利用者数ともに減少した。

事業名	⑧生活福祉資金貸付事業									
事業内容	収入が少ない世帯、あるいは障がい者や高齢者のいる世帯に対し、民生委員・児童委員や社会福祉協議会が協力してその相談に応じ、経済的な安定や社会参加、在宅福祉を推進する目的で運営している貸付制度。 (1)実施主体 島根県社協 (2)限度額 35,000円～5,800,000円（資金の種類により異なる） (3)償還期間 12ヶ月～20年以内（資金の種類により異なる） (4)償還関係業務 長期滞納の場合、その理由等の確認（場合によっては島根県社協による現地督励会の開催も調整）									
対象者	○低所得世帯…資金の貸付により独立自活できると認められる世帯であって、資金の融通を他から受けることが困難であると認められる世帯 ○障がい者世帯…身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯 ○高齢者世帯…日常生活上療養又は介護を要する高齢者（65歳以上）の属する世帯									
成果等	○令和元年度実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>新規貸付件数</td> <td>6件</td> <td>（前年度比1件増）</td> </tr> <tr> <td>新規貸付分の貸付元金</td> <td>5,039,000円</td> <td>（前年度比4,490,000円増）</td> </tr> <tr> <td>貸付件数（R2.3.31現在）</td> <td>81件</td> <td>（前年度比4件減）</td> </tr> </table> <p>※新規貸付件数6件の内1件は緊急小口資金で、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた緊急小口資金等の特例貸付</p> ○一時的な困窮状態からの自立支援に役立っている。	新規貸付件数	6件	（前年度比1件増）	新規貸付分の貸付元金	5,039,000円	（前年度比4,490,000円増）	貸付件数（R2.3.31現在）	81件	（前年度比4件減）
新規貸付件数	6件	（前年度比1件増）								
新規貸付分の貸付元金	5,039,000円	（前年度比4,490,000円増）								
貸付件数（R2.3.31現在）	81件	（前年度比4件減）								
備考										

事業名	⑨民生基金貸付事業												
事業内容	○江津市内に居住する低所得者に対し、生活に緊急的に必要な一定の資金を一時的に貸し付け、自立生活を支援する。 ○資金の種類 生活を営むのに必要な経費、生業を営むのに必要な経費、医療のために必要な経費、教科書代・修学旅行に必要な経費、家屋補修に必要な経費、高額な医療費支払のために必要な経費、急迫状態にある生活困窮者等に対し、緊急かつ一時的に必要な経費 (1)償還期間12ヶ月以内（高額療養費、緊急小口資金は概ね3ヶ月以内） (2)利子は無利子 (3)償還関係業務：償還金の受入、滞納者への督促（場合によっては償還指導会の開催） (4)限度額10,000～300,000円												
対象者	江津市内に居住する低所得者（連帯保証人1名必要、緊急小口資金は不要）												
成果等	○令和元年度実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>新規貸付件数</td> <td>5件</td> <td>（前年度比3件減）</td> </tr> <tr> <td>新規貸付金額</td> <td>160,000円</td> <td>（前年度比140,000円減）</td> </tr> <tr> <td>貸付中の件数（R2.3.31現在）</td> <td>18件</td> <td>（前年度比2件増）</td> </tr> <tr> <td>償還残額（R2.3.31現在）</td> <td>1,410,000円</td> <td>（前年度比53,000円増）</td> </tr> </table>	新規貸付件数	5件	（前年度比3件減）	新規貸付金額	160,000円	（前年度比140,000円減）	貸付中の件数（R2.3.31現在）	18件	（前年度比2件増）	償還残額（R2.3.31現在）	1,410,000円	（前年度比53,000円増）
新規貸付件数	5件	（前年度比3件減）											
新規貸付金額	160,000円	（前年度比140,000円減）											
貸付中の件数（R2.3.31現在）	18件	（前年度比2件増）											
償還残額（R2.3.31現在）	1,410,000円	（前年度比53,000円増）											
備考													

事業名	⑩赤い羽根子どもの遊び場の保険加入事務
事業内容	市内の跡市児童遊園地外 4 箇所を各地区それぞれの社協支会が設置しており、施設賠償責任保険への加入事務等を行う。
対象者	4 箇所の児童遊園地（社協支会）
成果等	地区の児童の身近な遊び場として活用されており、また、そこでの事故についての賠償責任に対応できるよう施設賠償責任保険へ加入した。
備考	法人運営事業予算の中に組入

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(2) 相談体制・情報提供体制の充実

事業名	①ふれあい福祉センター総合相談事業																					
事業内容	<p>○市民の様々な心配ごと相談に応じ、問題の所在を明らかにした適切な解決を図り、安心した生活と福祉の向上に寄与する。</p> <p>(1) 法律相談（弁護士）・・・毎月 1 回 法律に関することについて（相談時間：30 分以内）</p> <p>(2) 一般相談（司法書士、民生委員・児童委員）・・・江津会場 1 回/月、桜江会場 1 回/2 カ月 日常生活上のいろいろな心配ごと・悩みごとについて（相談時間：45 分以内）</p> <p>(3) 福祉相談（センター担当職員）・・・平日 福祉サービス・専門相談機関の紹介や、いろいろな心配ごと・悩みごとについて</p> <p>○ふれあい福祉センター運営委員会（相談事業のあり方について検討）</p>																					
対象者	市民（市外からも受け入れる場合がある）																					
成果等	<p>○令和元年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">法律相談 (12 回中 11 回開催)</td> <td>取扱件数</td> <td>82 件 (前年度比 18 件増)</td> </tr> <tr> <td>相談利用者数</td> <td>45 名 (前年度比 7 名増)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一般相談 (18 回中 12 回開催)</td> <td>取扱件数</td> <td>40 件 (前年度比 28 件増)</td> </tr> <tr> <td>相談利用者数</td> <td>28 名 (前年度比 20 名増)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">福祉相談 (平日)</td> <td>取扱件数</td> <td>198 件 (前年度比 14 件増)</td> </tr> <tr> <td>相談利用者数</td> <td>184 名 (前年度比 17 名増)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>取扱件数</td> <td>320 件 (前年度比 60 件増)</td> </tr> <tr> <td>相談利用者数</td> <td>257 名 (前年度比 44 名増)</td> </tr> </table> <p>※法律相談は 1 回、一般相談は 6 回が予約なしのため中止となった。 法律相談・一般相談の相談実績は年々減少傾向にあったが、今年度については増加した。</p>		法律相談 (12 回中 11 回開催)	取扱件数	82 件 (前年度比 18 件増)	相談利用者数	45 名 (前年度比 7 名増)	一般相談 (18 回中 12 回開催)	取扱件数	40 件 (前年度比 28 件増)	相談利用者数	28 名 (前年度比 20 名増)	福祉相談 (平日)	取扱件数	198 件 (前年度比 14 件増)	相談利用者数	184 名 (前年度比 17 名増)	合計	取扱件数	320 件 (前年度比 60 件増)	相談利用者数	257 名 (前年度比 44 名増)
法律相談 (12 回中 11 回開催)	取扱件数	82 件 (前年度比 18 件増)																				
	相談利用者数	45 名 (前年度比 7 名増)																				
一般相談 (18 回中 12 回開催)	取扱件数	40 件 (前年度比 28 件増)																				
	相談利用者数	28 名 (前年度比 20 名増)																				
福祉相談 (平日)	取扱件数	198 件 (前年度比 14 件増)																				
	相談利用者数	184 名 (前年度比 17 名増)																				
合計	取扱件数	320 件 (前年度比 60 件増)																				
	相談利用者数	257 名 (前年度比 44 名増)																				
備考																						

事業名	②福祉委員制度の見直し【再掲 2-(1)-⑥参照】
-----	---------------------------

事業名	③広報紙の発行およびホームページの更新
事業内容	<p>○広報紙の発行およびホームページにより、本協議会の業務及びサービスや福祉に関する情報を市民にわかり易く提供する。</p> <p>○視覚に障がいのある方に対しては、広報紙を点訳・音訳して提供する。 ※点訳・音訳作業は、島根県西部視聴覚障害者情報センター（いわみーる内）を通じて、「点訳ボランティア窓の会」「声のボランティアひびきの会」に無償での協力を得る。</p>
対象者	市民、その他関連福祉団体等
成果等	<p>○広報紙「ごうつ社協」発行 年 5 回（前年度比 増減無し）</p> <p>○ホームページの更新 年 42 回（前年度比 1 回減）</p>
備考	<p>○ホームページについては、県社協からの民間助成に関する情報を積極的に掲載する等、こまめに更新を行ったが、前年度比 1 回減となった。</p> <p>○義援金および救済金の募集について本協議会ホームページに掲載・周知した。</p>

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(3) 権利擁護・虐待防止対策の推進

事業名	①日常生活自立支援事業												
事業内容	<p>○判断能力が不十分な方や日常生活に不安のある方の権利を擁護することを目的として、それらの方が、地域で安心して自立した生活が送れるように、日常的なお手伝いを社会福祉協議会や生活支援員が行う。</p> <p>(1) 福祉サービスの利用援助 福祉サービスの利用に関する手続きや利用料を支払う手続きなど</p> <p>(2) 日常的金銭管理サービス 年金等の受領に必要な手続き、医療費・公共料金・日用品の代金の支払いなど</p> <p>(3) 書類等の預かりサービス 年金証書、預金通帳、契約書、実印、銀行印等の保管</p> <p>(4) 利用料・・・1,200円×利用時間+交通費（※ただし、生活保護世帯は支援計画に基づいた支援は無料） 預かり料・・・月額200円</p>												
対象者	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等日常生活に不安があり、自己の能力で様々なサービスを適切に利用することが困難な方（療育手帳や精神障害者保健福祉手帳所持者、認知症の診断を受けている者に限らない）												
成果等	<p>○令和元年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>①前年度末の契約者数</td> <td>27件</td> <td>(前年度比1件減)</td> </tr> <tr> <td>②新規契約者数</td> <td>6件</td> <td>(前年度比2件増)</td> </tr> <tr> <td>③解約・終了者数 (そのうち成年後見制度移行数)</td> <td>5件 3件</td> <td>(前年度比増減なし) (前年度比2件増)</td> </tr> <tr> <td>④年度末時点の契約者数</td> <td>28件</td> <td>(前年度比1件増)</td> </tr> </table> <p>○適切な福祉サービスの利用、公共機関等への書類提出の支援、親族等からの金銭虐待の防止、公共料金等の支払い遅延の防止、無駄遣いの抑制など、利用者の権利擁護に寄与した。</p>	①前年度末の契約者数	27件	(前年度比1件減)	②新規契約者数	6件	(前年度比2件増)	③解約・終了者数 (そのうち成年後見制度移行数)	5件 3件	(前年度比増減なし) (前年度比2件増)	④年度末時点の契約者数	28件	(前年度比1件増)
①前年度末の契約者数	27件	(前年度比1件減)											
②新規契約者数	6件	(前年度比2件増)											
③解約・終了者数 (そのうち成年後見制度移行数)	5件 3件	(前年度比増減なし) (前年度比2件増)											
④年度末時点の契約者数	28件	(前年度比1件増)											
備考	・R2.3.31現在の生活支援員数 26名（前年度比3名増 H30年度市民後見人講座受講修了者5名登録）												

事業名	②法人後見受任事業												
事業内容	<p>認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等意思決定が困難な者の判断力を補うため、本協議会が成年後見人、保佐人、補助人となることにより、被成年後見人、被保佐人、被補助人の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを推進する事業である。今後、日常生活自立支援事業利用者等において、更なる判断能力等の低下により成年後見人等が必要な場合が増えることが想定されるため、地域で暮らす方々の権利を擁護していく上でのセーフティネットのひとつとして本協議会が受任している。</p>												
対象者	<p>江津市内に在住し、他に適切な後見人等が得られない者とするほか次の各号のいずれかの要件を満たす者</p> <p>①日常生活自立支援事業の利用者であって、その事業では対応が困難であると判断される事項に対応する必要が生じた場合</p> <p>②市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始の審判を申し立てた場合</p> <p>③その他、特別の事由により必要があると本協議会会長が認める者</p>												
成果等	<p>○令和元年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度末の受任者数</td> <td>10件</td> <td>(前年度比1件増)</td> </tr> <tr> <td>新規受任者数</td> <td>3件</td> <td>(前年度比2件増)</td> </tr> <tr> <td>受任終了者数</td> <td>0件</td> <td>(前年度比増減なし)</td> </tr> <tr> <td>年度末時点の受任者数</td> <td>13件</td> <td>(前年度比3件増) 後見11件、保佐2件</td> </tr> </table> <p>○被後見人等の金銭管理・身上監護を行い、その人らしい生活ができるよう支援した。</p> <p>○H31.4から法人後見支援員が活動開始（主に身上監護）</p> <p>○権利擁護推進委員会を年2回（委員会開催日①R元.7.2②R2.1.29）開催し、専門的知識を有する委員より本事業をはじめとした権利擁護の推進について助言を受けた。</p>	前年度末の受任者数	10件	(前年度比1件増)	新規受任者数	3件	(前年度比2件増)	受任終了者数	0件	(前年度比増減なし)	年度末時点の受任者数	13件	(前年度比3件増) 後見11件、保佐2件
前年度末の受任者数	10件	(前年度比1件増)											
新規受任者数	3件	(前年度比2件増)											
受任終了者数	0件	(前年度比増減なし)											
年度末時点の受任者数	13件	(前年度比3件増) 後見11件、保佐2件											
備考	・R2.3.31現在の法人後見支援員数 16名（H30年度市民後見人講座受講修了者登録）稼働支援員数9名、担当ケース数11件												

事業名	③権利擁護の普及啓発および権利擁護人材の育成
事業内容	<p>成年後見制度の利用を必要とする人が増加する中、親族後見人が得られず、弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職による第三者後見人が選任されるケースが増加している。今後もますます同制度の利用を必要とする人が増加することが予測されることから、社会貢献活動に意欲がある市民が第三者後見人になる“市民後見人”への期待が高まっている。そのため本協議会では、後見人等を担うことのできる市民後見人の養成や育成を行うとともに、本協議会が行う法人後見受任事業や日常生活自立支援事業を支援していただく法人後見支援員および生活支援員の養成・育成を図り、判断能力が不十分な人の権利擁護を図るための取組を行う。</p> <p>また、判断能力が不十分な人のみならず、すべての人の自己実現、自己決定の尊重、権利行使が守られる社会の実現を目指し、権利擁護の理念の普及啓発を行う。</p>
対象者	市民
成果等	<p>○権利擁護人材（生活支援員、法人後見支援員、市民後見人講座受講者）の育成を図るため、「令和元年度権利擁護人材フォローアップ研修会」を開催</p> <p>【1日目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 10月23日（水）13:00～15:00 ・会 場 済生会江津総合病院2F講堂 ・内 容 「対人援助について」（講義、演習、質疑応答） ・講 師 ヴィレッジせいわ 地域活動支援センター オアシス 地主 礼 氏 ・参加者 生活支援員、法人後見支援員、市民後見講座受講者 22人 <p>【2日目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 10月30日（水）13:00～16:30 ・会 場 済生会江津総合病院2F講堂 ・内 容 「知的障害者への支援」（講義・演習・事例検討・質疑応答） ・講 師 社会福祉士 阪田 健嗣 氏 ・参加者 生活支援員、法人後見支援員、市民後見講座受講者 20人 <p>○「石見成年後見センター共催 成年後見制度PR・相談ブース」を石見成年後見センター会員の協力を得て、R1.12.1 福祉ふれあいチャリティーバザー会場内に設置し、成年後見制度の概要やR2年度に市民後見人講座の開催を検討していることについて掲示し、啓発を図った。</p>
備考	

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(4) 生活困窮者等の自立支援の推進

事業名	①生活支援相談センター事業																																																				
事業内容	<p>生活困窮者自立支援法施行（H27.4.1）に伴い、生活困窮者への新たな支援制度が開始となり、当社協では、この支援制度が定める必須事業の「自立相談支援事業」、「住居確保給付金」、任意事業の「家計改善支援事業」について、江津市からの受託事業として取り組んでいる。</p> <p>これまでの具体的な取組として、社協内に設置している生活支援相談センターの相談支援員が、病気や失業、住む所がないなど困っておられる方の、生活再建や就労など自立に向けて、関係機関と連携を図りながら、その人に合った支援を行った。</p>																																																				
対象者	原則は生活困窮者であるが、幅広く柔軟に対応する。																																																				
成果等	<p>○新規相談受付件数 57件（前年度比11件増）</p> <p>○支援調整会議の開催 1回（前年度比1回減）</p> <p>○プラン支援決定状況</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業</th> <th colspan="2">新規作成</th> <th colspan="2">再プラン</th> <th colspan="2">中断</th> <th colspan="2">終結</th> </tr> <tr> <th>当年度</th> <th>前年度比</th> <th>当年度</th> <th>前年度比</th> <th>当年度</th> <th>前年度比</th> <th>当年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自立相談支援事業</td> <td>2</td> <td>△4</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> <td>2</td> <td>△3</td> </tr> <tr> <td>家計改善支援事業</td> <td>1</td> <td>△5</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> <td>2</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3</td> <td>△9</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>△2</td> <td>4</td> <td>△5</td> </tr> </tbody> </table>									事業	新規作成		再プラン		中断		終結		当年度	前年度比	当年度	前年度比	当年度	前年度比	当年度	前年度比	自立相談支援事業	2	△4	5	1	0	△1	2	△3	家計改善支援事業	1	△5	5	1	0	△1	2	△2	合計	3	△9	10	2	0	△2	4	△5
事業	新規作成		再プラン		中断		終結																																														
	当年度	前年度比	当年度	前年度比	当年度	前年度比	当年度	前年度比																																													
自立相談支援事業	2	△4	5	1	0	△1	2	△3																																													
家計改善支援事業	1	△5	5	1	0	△1	2	△2																																													
合計	3	△9	10	2	0	△2	4	△5																																													

○住居確保給付金の支援決定件数 0件（前年度比増減なし）		
○相談支援の延べ回数		
相談支援の内容	当年度	前年度比
来所相談（面談）	202	18
電話相談	213	△167
訪問相談	223	28
同行支援	97	0
他機関との相談（協議・電話連絡）	683	162
メール相談	108	46
その他	8	4
計	1,534	91
○就労者・増収者数		
	当年度	前年度比
就労者数（一般就労者総数）	2	0
増収者数（総数）	2	1
新規相談件数は増加。前年度から引き続き相談支援している人や、頻回に支援が必要な人がいたことから相談支援延べ回数についても増加した。		
備考		

事業名	②緊急一時食料支援事業（フードバンク事業）	
事業内容	市民や関係機関・団体などから提供された食料をフードバンクとして備蓄し、これを生活が窮乏状態となった者に対し一時的に食料を提供することで、当該生活困窮者の自立と生活再建を図る。（備蓄した食料の中から一人当たり最大3食分の食料を、3日分以内で提供する。特別事情があるときは食料提供期間の延長が可能） また、当事業への指定寄付も受け付け可能。	
対象者	次の全てに該当する者 ①現に江津市内に居住している者 ②本協議会の生活支援相談センター事業等の支援対象者 ③生活困窮により食料の確保が困難で生命の安全が脅かされている状態にある者	
成果等	○緊急一時食糧支援の実績 ・利用件数（利用者数） 14件【前年度比3件増】 ○食料等の寄付状況	
	時期	寄贈件数
	4月～1月	3件（3件減）
	2月以降（広報紙で募集）	4件（4件減）
	合計	7件（7件減）
	※2月の本会広報紙で、家庭や事業所等に眠っている食料の提供を呼びかけた（募集期間は2月だが、3月に持参された人もいる） 今年度は団体からの寄贈が少なかったため、前年度より件数・点数ともに減少している	
備考	・市民等からの食料提供については原則として期間を設けて受け付けている（在庫を抱えずに賞味期限切れになることを防止するため）	

事業名	③生活困窮者日用品等提供事業	
事業内容	日常生活を送るのが困難な人に対し、①衣料品、②寝具、③日用品などを提供し、自立生活を支援する。	
対象者	市民等	
成果等	・利用件数 3件（前年度比1件増） 内訳（重複あり）	

	①衣料品・・・0件（前年度比1件減） ②寝具・・・0件（前年度比2件減） ③日用品・・・3件（前年度比2件増）
備 考	提供する品物は、チャリティーバザーの残品や、施設入所等により空き家状態となるような家庭からの提供品

事業名	④入居債務保証支援事業
事業内容	<p>賃貸住宅に入居する際の入居保証人が確保できない者について、本協議会が、家主又は不動産業者と入居に関する債務保証契約を締結することにより住居の確保を支援し、地域生活への移行や生活再建の基盤を支える。本事業の利用希望があった場合、その旨を浜田宅建センター江津支部へ、賃貸住宅の情報提供依頼を行う。提供された情報をもとに、入居希望の賃貸住宅があった場合、その所有者（賃貸人）、利用者、本協議会の間で利用契約を締結。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用期間（契約期間） 2年間とし更新が可能 ・利用料 15,000円（一括または分割して本協議会へ納付） ※本協議会に納付された利用料全額は、入居債務保証金として島根県社協へ組み入れる ・保証の対象は次のとおり <ol style="list-style-type: none"> (1) 滞納家賃（月額家賃の最大3ヶ月分） (2) 退去に伴う原状回復にかかる費用（月額家賃の2か月分） ※上記(1)の月額家賃は、生活保護制度における江津市の住宅扶助費を上限額とする（条件を満たせば特別基準額が適用となる場合もある） ・保証が必要になった場合は、本協議会から島根県社協に対し保証額の請求を行う
対象者	次の全てに該当する者 ①本事業を利用して自立した日常生活を送ることが期待でき、市内の賃貸住宅に入居を希望する者 ②家賃等について継続的に支払いができるにも関わらず、入居保証人の確保ができないため賃貸住宅への入居が困難な者 ③世帯の収入が住民税非課税相当以下の者
成果等	○令和元年度実績 0件（前年度比増減なし）
備 考	

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(5) 地域福祉に関する基盤整備

事業名	①福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）【再掲3-(1)-⑦参照】
-----	------------------------------------

事業名	②社協支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕【再掲2-(1)-③参照】
-----	---

事業名	③民間助成事業の利用支援【再掲1-(2)-③参照】
-----	---------------------------

事業名	④社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）	
事業内容	地域福祉団体の活動が円満に進み、地域福祉の充実が図られるよう、香典返しを原資とした基金から毎年関係団体に助成している。なお、この交付団体の選定にあたっては、「社会福祉活動基金委員会」の審議を経て決定している。	
対象者	市内の福祉関係団体	
成果等	○令和元年度助成実績【8団体、総額 5,621,000円】（前年度比 2,141,000円増）	
	① 江津市社会福祉協議会	4,921,000円
	② 江津市民生児童委員協議会	300,000円
	③ 江津市老人クラブ連合会	100,000円
	④ 江津市連合婦人会	90,000円
	⑤ 江津市母子会連合会	30,000円
	⑥ ふれあい農業体験塾	40,000円
	⑦ 浜田地区保護司会江津分区	100,000円
	⑧ 江津市更生保護女性会	40,000円
	※増額の大部分は江津市社会福祉協議会への助成金増によるもので、公用車及びパソコン買替えにより活動基金からの繰入が増えたため。	
備考		

事業名	⑤本市社協の体制づくり（組織運営体制の見直し・再編）	
事業内容	<p>このたびの社会福祉法人制度改革の趣旨に沿って、適切な法人運営に努めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営組織のガバナンスの強化 理事会や評議員会の開催、役員や評議員の選任についても社会福祉法等に沿った適切な対応が図られている。また、本会の運営にあたっては広く関係者の声が反映されるよう努めている。 2. 事業運営の透明性の向上 閲覧対象書類の適切な公開に努めるとともに、本会ホームページや広報紙により活動状況の報告や情報公開に努めている。 3. 財務規律の強化 役員報酬基準の厳守を始め、適正かつ公正な歳出管理に努めた。 4. 地域における公益的な取組みを実施する責務 社会福祉法人には、高い公共性や公益性が求められることから、公的財源が十分でない日常生活自立支援事業、フードバンク事業、衣料品、寝具、日用品など提供する緊急支援、歳末に高齢の方に見舞い品を配る歳末声かけボランティア事業などにも取り組んでいる。 また、制度の狭間にある地域の課題などに連携して対応していくため、市内11社会福祉法人による江津市社会福祉法人連絡会による活動を行っている。 5. 行政の関与の在り方 所轄庁である江津市とも緊密に連携を図っており、全国的なデータベースに財務諸表等の情報を提供している。 以上の制度改革の各項目に適切に対応するべく組織を挙げて取り組んでいる 	
対象者	江津市社会福祉協議会	
成果等	このたびの社会福祉法人改革に対して適切な対応に努めることで、透明性のある、市民に開かれた社会福祉協議会として、より良い福祉サービスの提供ができたものと思われる。	
備考		

事業名	⑥生活支援体制整備事業【再掲1-(1)-⑥参照】
-----	--------------------------

事業名	⑦法人運営事業
事業内容	社会福祉協議会は、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指し、絶えず、その方法について協議し、それを踏まえて活動するため、地域の各種団体や公私の社会福祉事業関係者等をもって組織されている。このため、これらの福祉関係者の活動を支援するための会議等の旅費、交通費、また職員自ら地域福祉に従事するための人件費、事務所の諸経費等がこれの主なもの、法人の管理に必要とする事業の経費である。
対象者	市民、江津市民生児童委員協議会、江津市老人クラブ連合会、日赤島根県支部江津市地区、島根県共同募金会江津市共同募金委員会、その他関連福祉団体
成果等	<p>○主な収入財源の内訳</p> <p>会費収入 8,337,800 円 (前年度 8,419,100 円 前年度比 0.96%減)</p> <p>会員世帯数 8,338 世帯</p> <p>社協広報紙配布世帯に対する会員割合 8,338 世帯 / 9,600 世帯 = 86.9%</p> <p>江津市補助金 34,243,380 円 (人件費 9 名分、子供の遊び場事業費等)</p> <p>寄付金 4,240,610 円 (香典返し寄付金等)</p> <p>○主な事業</p> <p>(1) 各種会議 (正副会長会 3 回、理事会 5 回、評議員会 4 回、監査会 1 回)</p> <p>(2) 各種委員会 18 回</p> <p>(3) 社協広報紙発行費 (5 回)、福祉バス運行費の一部、事務局維持費</p> <p>(4) 江津市社会福祉協議会業務 (決算額 49,934,869 円)</p> <p>(5) 事務局受託団体の事業を支援</p> <p>① 江津市民生児童委員協議会支援業務</p> <p>② 江津市老人クラブ連合会支援業務</p> <p>③ 江津市共同募金委員会業務全般</p> <p>④ 日赤島根県支部江津市地区業務全般</p> <p>(6) その他関連福祉団体等の円滑な福祉活動の支援</p>
備考	

事業名	⑧研修会等への参加																																																													
事業内容	各種研修会等へ積極的に参加し、役職員の資質向上を図る。																																																													
対象者	社協役職員																																																													
成果等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.14</td> <td>西部地震からの復興を考えるシンポジウム【川島事務局長】</td> </tr> <tr> <td>5.27</td> <td>生活支援コーディネーター初任者研修【宮内生活支援コーディネーター】</td> </tr> <tr> <td>5.28</td> <td>生活支援コーディネーター情報交換会【宮内生活支援コーディネーター】</td> </tr> <tr> <td>5.28</td> <td>生活福祉資金貸付制度説明会【川上主事、久保田主任相談支援員】</td> </tr> <tr> <td>6.4</td> <td>市町村ボランティアコーディネーター・担当者連絡会議及び災害ボランティアセンター担当者連絡会議【浅田課長、焼杉課長、多幾】</td> </tr> <tr> <td>6.6～7</td> <td>社協職員研修(基礎研修)【川本主事】</td> </tr> <tr> <td>7.4</td> <td>社会福祉法人指導・監査説明会、研修会【川島事務局長、岩崎課長補佐】</td> </tr> <tr> <td>7.4</td> <td>浜田圏域高次脳機能障がい者支援研修会【澤田専門員、川上専門員、南口相談支援員】</td> </tr> <tr> <td>7.8</td> <td>日常生活自立支援事業専門員連絡会・研修会【焼杉課長、川上専門員】</td> </tr> <tr> <td>7.9</td> <td>島根県社会福祉協議会会長会総会・研修会【黒川会長】</td> </tr> <tr> <td>7.29～31</td> <td>自立相談支援事業従事者養成研修【南口相談支援員】</td> </tr> <tr> <td>7.30</td> <td>相談支援事業従事者研修【川上専門員】</td> </tr> <tr> <td>8.20</td> <td>あいサポートメッセージ研修【青笹主事補】</td> </tr> <tr> <td>8.20</td> <td>「学びにくさのある子の理解と指導法」に関する研修会【焼杉課長、澤田専門員、川上専門員】</td> </tr> <tr> <td>8.22～23</td> <td>福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース)【青笹主事補】</td> </tr> <tr> <td>8.22</td> <td>生活支援コーディネーター等研修会【浅田課長、宮内生活支援コーディネーター】</td> </tr> <tr> <td>8.23</td> <td>日常生活自立支援事業勉強会【県社協、焼杉課長、澤田専門員、川上専門員】</td> </tr> <tr> <td>9.2～3</td> <td>社協トップミーティング【黒川会長、内田副会長、川島常務理事】</td> </tr> <tr> <td>9.10</td> <td>日常生活自立支援事業生活支援員研修会【生活支援員、川上専門員】</td> </tr> <tr> <td>9.18～19</td> <td>福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(管理職員コース)【浅田課長、焼杉課長】</td> </tr> <tr> <td>9.28</td> <td>石見法律相談センター研修会【焼杉課長】</td> </tr> <tr> <td>10.7</td> <td>石見地域のまちづくり関係者研修会【宮内生活支援コーディネーター】</td> </tr> <tr> <td>10.16</td> <td>ひきこもり支援従事者研修会【焼杉課長、久保田主任相談支援員、南口相談支援員】</td> </tr> <tr> <td>10.17～18</td> <td>災害ボランティアセンター運営支援者養成研修【浅田課長、焼杉課長、川本主事、青笹主事補】</td> </tr> <tr> <td>10.18</td> <td>更生支援コーディネーター養成研修【南口相談支援員】</td> </tr> <tr> <td>2.18</td> <td>生活困窮者自立相談支援人材養成研修【焼杉課長、南口相談支援員】</td> </tr> <tr> <td>2.20</td> <td>島根県子どもの未来応援地域ネットワーク形成研修会【南口相談支援員】</td> </tr> <tr> <td>2.21</td> <td>人権・権利擁護研修【澤田主事】</td> </tr> <tr> <td>2.26</td> <td>外国人受入れセミナー【川島事務局長】</td> </tr> </tbody> </table>		月日	内容	4.14	西部地震からの復興を考えるシンポジウム【川島事務局長】	5.27	生活支援コーディネーター初任者研修【宮内生活支援コーディネーター】	5.28	生活支援コーディネーター情報交換会【宮内生活支援コーディネーター】	5.28	生活福祉資金貸付制度説明会【川上主事、久保田主任相談支援員】	6.4	市町村ボランティアコーディネーター・担当者連絡会議及び災害ボランティアセンター担当者連絡会議【浅田課長、焼杉課長、多幾】	6.6～7	社協職員研修(基礎研修)【川本主事】	7.4	社会福祉法人指導・監査説明会、研修会【川島事務局長、岩崎課長補佐】	7.4	浜田圏域高次脳機能障がい者支援研修会【澤田専門員、川上専門員、南口相談支援員】	7.8	日常生活自立支援事業専門員連絡会・研修会【焼杉課長、川上専門員】	7.9	島根県社会福祉協議会会長会総会・研修会【黒川会長】	7.29～31	自立相談支援事業従事者養成研修【南口相談支援員】	7.30	相談支援事業従事者研修【川上専門員】	8.20	あいサポートメッセージ研修【青笹主事補】	8.20	「学びにくさのある子の理解と指導法」に関する研修会【焼杉課長、澤田専門員、川上専門員】	8.22～23	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース)【青笹主事補】	8.22	生活支援コーディネーター等研修会【浅田課長、宮内生活支援コーディネーター】	8.23	日常生活自立支援事業勉強会【県社協、焼杉課長、澤田専門員、川上専門員】	9.2～3	社協トップミーティング【黒川会長、内田副会長、川島常務理事】	9.10	日常生活自立支援事業生活支援員研修会【生活支援員、川上専門員】	9.18～19	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(管理職員コース)【浅田課長、焼杉課長】	9.28	石見法律相談センター研修会【焼杉課長】	10.7	石見地域のまちづくり関係者研修会【宮内生活支援コーディネーター】	10.16	ひきこもり支援従事者研修会【焼杉課長、久保田主任相談支援員、南口相談支援員】	10.17～18	災害ボランティアセンター運営支援者養成研修【浅田課長、焼杉課長、川本主事、青笹主事補】	10.18	更生支援コーディネーター養成研修【南口相談支援員】	2.18	生活困窮者自立相談支援人材養成研修【焼杉課長、南口相談支援員】	2.20	島根県子どもの未来応援地域ネットワーク形成研修会【南口相談支援員】	2.21	人権・権利擁護研修【澤田主事】	2.26	外国人受入れセミナー【川島事務局長】
月日	内容																																																													
4.14	西部地震からの復興を考えるシンポジウム【川島事務局長】																																																													
5.27	生活支援コーディネーター初任者研修【宮内生活支援コーディネーター】																																																													
5.28	生活支援コーディネーター情報交換会【宮内生活支援コーディネーター】																																																													
5.28	生活福祉資金貸付制度説明会【川上主事、久保田主任相談支援員】																																																													
6.4	市町村ボランティアコーディネーター・担当者連絡会議及び災害ボランティアセンター担当者連絡会議【浅田課長、焼杉課長、多幾】																																																													
6.6～7	社協職員研修(基礎研修)【川本主事】																																																													
7.4	社会福祉法人指導・監査説明会、研修会【川島事務局長、岩崎課長補佐】																																																													
7.4	浜田圏域高次脳機能障がい者支援研修会【澤田専門員、川上専門員、南口相談支援員】																																																													
7.8	日常生活自立支援事業専門員連絡会・研修会【焼杉課長、川上専門員】																																																													
7.9	島根県社会福祉協議会会長会総会・研修会【黒川会長】																																																													
7.29～31	自立相談支援事業従事者養成研修【南口相談支援員】																																																													
7.30	相談支援事業従事者研修【川上専門員】																																																													
8.20	あいサポートメッセージ研修【青笹主事補】																																																													
8.20	「学びにくさのある子の理解と指導法」に関する研修会【焼杉課長、澤田専門員、川上専門員】																																																													
8.22～23	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース)【青笹主事補】																																																													
8.22	生活支援コーディネーター等研修会【浅田課長、宮内生活支援コーディネーター】																																																													
8.23	日常生活自立支援事業勉強会【県社協、焼杉課長、澤田専門員、川上専門員】																																																													
9.2～3	社協トップミーティング【黒川会長、内田副会長、川島常務理事】																																																													
9.10	日常生活自立支援事業生活支援員研修会【生活支援員、川上専門員】																																																													
9.18～19	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(管理職員コース)【浅田課長、焼杉課長】																																																													
9.28	石見法律相談センター研修会【焼杉課長】																																																													
10.7	石見地域のまちづくり関係者研修会【宮内生活支援コーディネーター】																																																													
10.16	ひきこもり支援従事者研修会【焼杉課長、久保田主任相談支援員、南口相談支援員】																																																													
10.17～18	災害ボランティアセンター運営支援者養成研修【浅田課長、焼杉課長、川本主事、青笹主事補】																																																													
10.18	更生支援コーディネーター養成研修【南口相談支援員】																																																													
2.18	生活困窮者自立相談支援人材養成研修【焼杉課長、南口相談支援員】																																																													
2.20	島根県子どもの未来応援地域ネットワーク形成研修会【南口相談支援員】																																																													
2.21	人権・権利擁護研修【澤田主事】																																																													
2.26	外国人受入れセミナー【川島事務局長】																																																													

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(6) 団体事務の受託

事業名	①江津市民生児童委員協議会（団体事務の受託）
事業内容	江津市民生児童委員協議会事務事業を全面的にバックアップし、その事業の円滑な推進を図る。 (1)協議会事業計画、予算、決算、会計事務等の受託 (2)各種会議の開催（理事会、理事会及び単位民児協正副会長・主任児童委員・女性リーダー代表者合同会議、正副会長会、総会、部会等） 令和元年度 9回開催 (3)各種研修会の開催（全員研修会） (4)各種福祉事業への協力（主催・共催） (5)江津市民児協以外が開催する各種会議・研修会への参加調整 (6)各民生委員・児童委員への情報提供 (7)各民生委員・児童委員への活動助言 (8)互助事業
対象者	民生委員・児童委員 110名
成果等	○民生委員・児童委員の資質向上 → 地域住民の生活改善 ○各民生委員・児童委員の負担軽減 ○民児協の多端な事務一切を処理し、その活動の充実化を支援した。
備考	○改選期であったため、理事・代表者合同会議及び総会は2回開催された。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、改選後の三部会は中止となった。

事業名	②江津市老人クラブ連合会（団体事務の一部受託）
事業内容	社会福祉協議会にとって、最も身近な高齢者の自主的地域組織であるため、その活動をバックアップし、円滑な推進を図る。 平成28年度からは市老連に専任の事務局長が配置されたことにより、本協議会は業務の一部を受託し、側面支援を行う。
対象者	（H31.4.1現在） 単位老人クラブ数（休会クラブを除く） 26クラブ（前年度比 2クラブ減） 会員数 795人（前年度比 111人減）
成果等	○日常的な業務の支援 ○事務局長不在時の対応（報告書・金銭の授受、電話・来所対応） ○行事（演芸大会、総合交流スポーツ大会など）の手伝い
備考	

事業名	③江津市共同募金委員会（団体事務の受託）
事業内容	共同募金委員会諸活動をするための窓口業務等を行った。募金は県共同募金会へ送金されるが、翌年度その約7割程度が社協をはじめとする市内の福祉団体等に助成され、地域福祉推進の主要な財源である。 (1)共同募金助成計画の立案 (2)共同募金の推進 (3)収入・支出等の会計事務 (4)県共募との連携・調整
対象者	市民、事業者
成果等	○各地区での戸別募金、街頭募金、法人募金、イベント募金、職域募金等を実施 ○令和元年度実績額（一般募金） 9,061,076円（前年度比 54,354円増） （テーマ型募金） 398,000円 ○令和元年度助成額 7,494,722円（老人給食サービス事業等 41事業に助成） ○社協 23支会に臨時助成金を交付。共同募金の使途等の理解促進や広報活動の強化、地域内の福祉課題調査等、住民に理解される支会活動費となるよう取り組みを行った。

備 考	・江津市地域対象事業数 41 事業の内訳 (本協議会 8 事業、市共募[公募枠]3 事業、社協支会 23 事業、その他団体 7 事業)
-----	--

事業名	④日本赤十字社島根県支部江津市地区 (団体事務の受託)
事業内容	○赤十字諸活動をするための窓口業務等で概ね次のような活動を行っている。 (1) 社資募集 (2) 救急法等赤十字各種講習 (3) 災害見舞金品の贈呈等 (4) 収入支出等会計事務全般 (5) 日赤県支部との連絡調整 (6) 赤十字思想普及キャンペーン (7) 災害義援金の受付 ○大災害時の救援活動のみでなく、平素の小災害救援、救急法や幼児安全法等の講習を行う等、身近なところでの活動も多い。
対象者	赤十字社員 (江津市民)
成果等	○社資の募集を中心に事務局として、赤十字諸活動の末端事業を受持っている。 ○令和元年度社資募集実績額 5,731,439 円 (前年度比 38,832 円減) (募集目安額 700 円/世帯) ○令和元年度災害 (火災) 見舞金品贈呈件数 0 件 (前年度比 2 件減) ○江津市内での災害非常食炊出し研修への参画・助成 1 件 (前年度比増減なし)
備 考	〔役員〕 江津市地区長・・・江津市長 副地区長・・・・・・江津市副市長、江津市社協会長 幹 事・・・・・・江津市社会福祉課課長補佐、江津市社協地域福祉課長